

地方独立行政法人奈良県立病院機構 一般事業主行動計画

地方独立行政法人奈良県立病院機構では、「“医の心と技”を最高レベルに磨き、県民の健康を生涯にわたって支え続けます。」を法人の理念として、法人の全職員が協力し、誇りややりがいをもって働くことができる職場環境をつくることで、次代を担う医療人の育成に取り組むという決意を掲げています。

法人では、職員一人ひとりが仕事にやりがいを持てる、ワークライフバランスにも配慮した働きやすい環境づくりを推進するため、職員満足度調査により課題を把握するとともに、制度改善等のために委員会による検討などを進めています。

法人の中期計画に基づき、職員にとって働きやすい環境を整備するため、以下のとおり次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画を策定します。

1 計画期間

平成31（2019）年4月1日から令和6（2024）年3月31日までの5年間

2 内容

目標1：男性の育児休業取得率の向上

<対策>

令和元年度～

「職員のためのワークライフバランスハンドブック」での周知

目標2：年次有給休暇取得日数の増加

<対策>

令和元年度～

- (1) 職員満足度調査の実施による課題把握
- (2) ワークライフバランス推進委員会による取得増加策の検討
- (3) 職員向けニュースレターを活用した啓発

目標3：超過勤務の縮減

<対策>

令和元年度～

- (1) 職員満足度調査の実施による課題把握
- (2) ワークライフバランス推進委員会による超過勤務時間縮減策の検討
- (3) タスクシフティング・タスクシェアリングの推進
- (4) 早出・遅出など柔軟な働き方の検討